

鈴鹿市消防団機能別団員（学生団員）の発足について

◆目的

本市消防団に機能別団員(※1)としての学生団員を発足し、現在及び将来の地域防災の担い手を確保するとともに、学生の探求心、発想力、行動力等を探り入れることで消防団の活性化を図ります。

(※1)災害をはじめとするすべての消防団活動に参加する基本団員とは異なり、入団時に決めた特定の活動や役割を担う消防団員

◆発足日

令和6年4月1日

◆構成する学生

鈴鹿医療科学大学及び鈴鹿大学に在籍する学生

◆定数

30人

◆活動内容

(平常時) 応急手当の普及、防火防災の啓発活動

(災害時) 救護所等における支援活動(計画中)

◆他市の状況

機能別団員として学生を任用している消防団

- ・津市消防団(平成25年4月から採用)
- ・四日市市消防団(平成28年1月から採用)
- ・松阪市消防団(令和5年2月から採用)

◆今後の予定

鈴鹿市消防団機能別団員(学生団員)発足式

令和6年4月27日(土) 10:00~11:00 鈴鹿市消防本部4階多目的室

鈴鹿市消防団機能別団員（学生団員）の発足にあたって

学生の入団促進を図るために実施した取組み

以下の取組みの実施により、学生の防災意識の向上を図り、大学とも連絡・連携体制が構築できました。

結果、25名の学生が消防団への参加の意思を示してくれました。

1 学生に消防団の役割やその活動について理解してもらうための説明会

日時：11月30日（木）	場所：鈴鹿医療科学大学	参加者：40人
日時：12月13日（水）	場所：鈴鹿医療科学大学	参加者：45人
日時：12月19日（火）	場所：鈴鹿大学	参加者：62人
日時：12月21日（木）	場所：鈴鹿大学	参加者：17人

2 外部講師を招いた防災研修会

日時：1月27日（土）	場所：鈴鹿医療科学大学	参加者：68人
内容：東日本大震災の被災体験から得た教訓（仙台市消防局職員）		
鈴鹿市で発生が想定される自然災害（鈴鹿市防災危機管理課）		
避難所運営ゲーム（鈴鹿市防災危機管理課）		

3 消防団員が指導者として参画する地域の消防訓練への参加

日時：12月10日（日）	場所：三重県消防学校 ほか
--------------	---------------